

小・中・高の接続の観点を踏まえた 中学校保健体育の充実

大阪府高槻市立冠中学校
岩佐 知美



本市における 小・中・高の接続を踏まえた中学校保健体育科の課題

小中接続

①小学校での学習内容に対する中学校教員の理解

→小学校学習指導要領における指導内容等の理解が不十分

②教科指導としての小中連携

→小中教員がお互いの授業を見る機会や交流する機会の少なさ

中高接続

①中学校卒業後の子どもの姿をイメージした授業づくり

→中学校の学びと高校での子どもの姿のつながりの見えにくさ

②中学校教員と高校教員との交流

→設置者の違いもあり、中高教員の連携の機会の少なさ・難しさ

小・中・高の接続の課題に対する本市での取組

小中接続を踏まえた取組

【高槻市教育研究会の取組】

高槻市教育研究会の目的

高槻市立学校教職員等を以って組織し、学校教育に関する調査研究を行い、その成果の普及を図り、本市学校教育の向上に資することを目的とする。

1. 学習指導要領に基づく教科・領域に関する調査研究
2. 学校教育に関係あるその他の専門的事項の調査研究
3. 会員の教職員としての資質向上を目指す研究発表会等の開催

- ・市教育研究会は、**毎月第2週目の水曜**
- ・市立小中学校の**水曜日の時間割は5時間**
- ・小中学校すべての教科等の部会で調査研究を実施



高槻市教育研究会【中学校保健体育部】の取組

令和7年度 研究テーマ

「共生の視点を重視した授業改善」

～体力や技能の程度，性別や障害の有無等にかかわらず，運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができる授業づくり～

	R7年度 年間計画
5月	・研究テーマについて ・年間予定の確認
6月	外部講師による講演
7月	ワークショップ：共生の視点を重視した授業づくりを考える
9月	外部講師による講演
11月	小学校の体育授業を見る視点を養う
12月	【小中共催】小学校研究授業（小学4年 ネット型ゲーム）
1月	【小中共催】中学校研究授業（中学1年 体育理論）
2月	・研究授業の振り返り ・効果的な年間指導計画の作成

小中接続を意識した取組

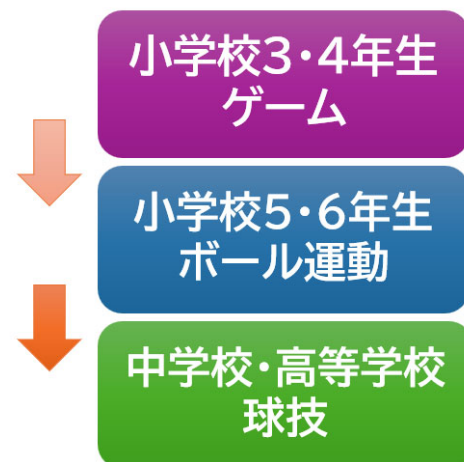
11月

小学校の体育授業を見る視点を養う

小学校の『ゲーム』『ボール運動』の理解を通して
中学校での『球技』を考える

小学校 ボール運動系の「知識及び技能」の系統

	低学年	中学年	高学年
知識	○運動遊びの楽しさに触れる ○行い方を知る	○運動の楽しさや喜びに触れる ○行い方を知る	○運動の楽しさや喜びを味わう ○行い方を理解する
技能	○易しいゲームをする ※ ボールゲーム ・簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをする ※ 鬼遊び ・一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをする	○易しいゲームをする ※ ゴール型ゲーム ・基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをする ※ ネット型ゲーム ・基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをする ※ ベースボール型ゲーム ・蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをする	○技能を身に付け、簡易化されたゲームをする ※ ゴール型 ・ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをする ※ ネット型 ・個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをする ※ ベースボール型 ・ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをする



小中の系統性を踏まえ、
中学校での球技の授業について
見直しが必要な点を交流しましょう

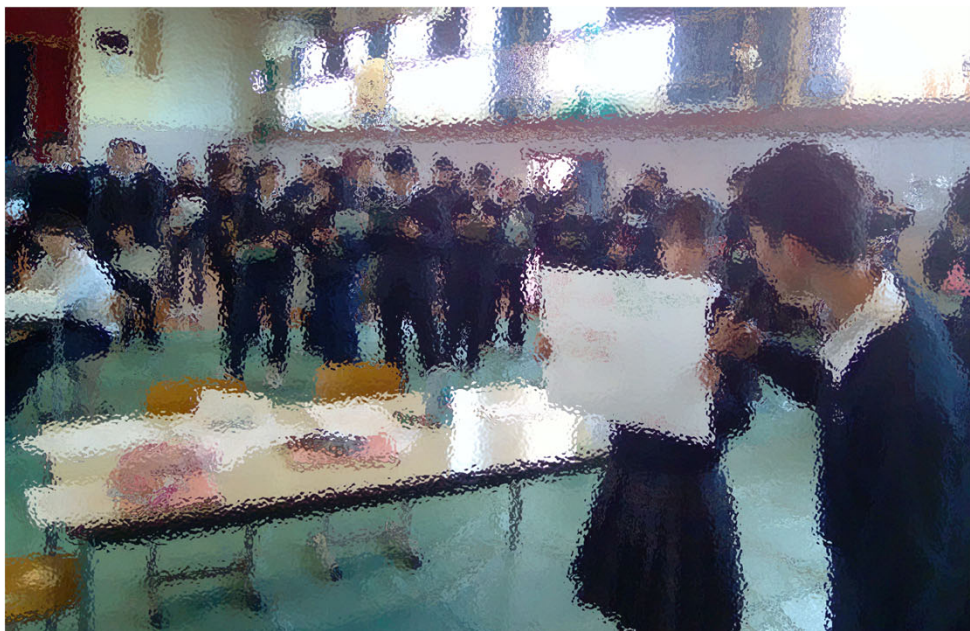
12月

小学4年『ネット型ゲーム』の研究授業を中学校教員も参観

(参考：R6年度は、小学5年跳び箱運動の研究授業を参観)

1月

中学1年「体育理論」の研究授業を小学校教員も参観



高槻市立冠中学校 保健体育研究授業

令和7年度 中学校保健体育部 研究テーマ

共生の視点を重視した授業改善

～体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、
運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができる授業づくり～

本日の研究授業を見ていただく視点は、以下のとおりです。

【視点】

1. 「体育理論」と「運動実践」の往還を図った指導の工夫
2. 人それぞれのスポーツの関わり方に気付く生徒の姿

- ・授業終了後、校区の小中学校がひとつのグループとなり、上記の【視点】で協議を行ってください。（中学校の先生が司会をしてください。）
- ・最後に、各グループでの協議内容を全体で交流しますので、発表者を決めておいてください。（発表者は小・中どちらでもOK）

1月

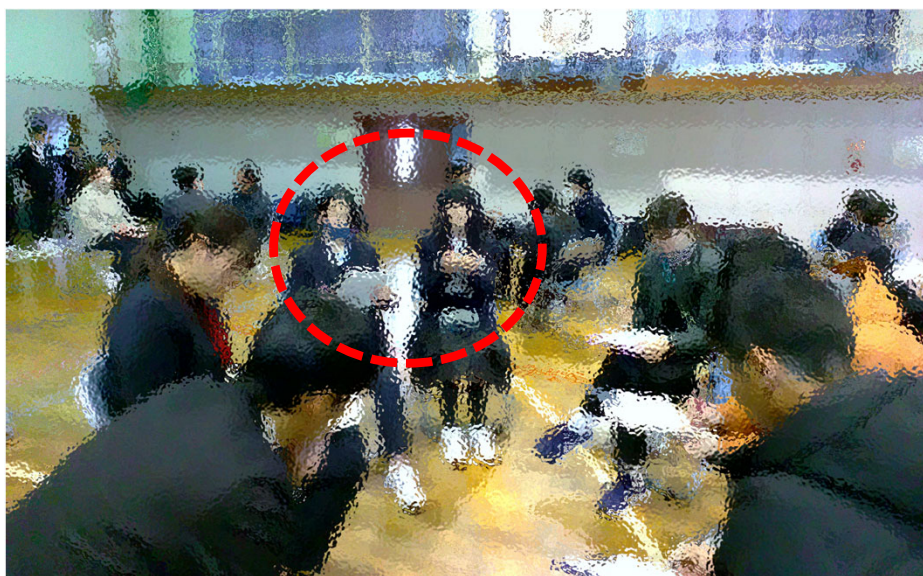
研究協議は、

- 👉 各中学校区の小中教員でグループ協議を行います
- 👉 グループ協議に生徒も参加して考えを伝えます



するだけではなくみる、交える、知るなどの色々な観点から授業を受けることで「授業へのかかわり」が増え、深まった。

前までは見学だと「する」ができなくなり、なにもできなかったが今は見る、交える、知ることが出来るから、どんな立場でも授業に関われる。例えば、フリスビーの時に見学をしても、ビートバンを用意したり友達にアドバイスをしたりできたから



体育の授業について、
同じ中学校区の小中教員が子どもの声なども踏まえて協議し、子どもたちの学びの連続性を確認しています

研究協議のまとめ



中学校教員が生徒の声を発表

体育があまり好きではないという2人の生徒だったが「する」だけではない関わり方があることを知ったことで自分も活躍できることが分かり、この1年で体育が楽しいと思えるようになったと話しをしてくれた。また、いろんな関わり方があることを学んで仲間の良さに気付いたり、日常の他の場面でも生かせたりすることがあると話しをしてくれた。生徒から直接話しを聞くことができて大変勉強になった。

小学校教員からの意見

小学校では「体育理論」の内容はないが、小学校教員も「する・みる・支える・知る」の関わり方を感じながら授業をしてきていると思う。

小学校教員ができることは、「こんな関わり方があるよね。」と小学校段階から授業に取り入れていくことで、中学校でまた違った学び方もできるのではないか。小学校でもできることはどんどん進めていきたい。



中高接続を踏まえた取組の可能性

これまでに実施してきた取組

- ①年度当初に中学校教員が公立高校の授業を参観
- ②中学校研究授業の実施案内を市内の公立高校へ配付
→過去に高校の校長・教員と協議できたことは成果
- ③市内の公立高校校長と体育授業についての現状を共有



情報共有にとどまり、取組が継続しない

授業に関する中高連携の取組

仕組みづくり

小・中・高の接続の観点を踏まえた

中学校保健体育の充実に向けて

小中接続

- ・ 中学校学習指導要領の趣旨や内容を踏まえた授業づくり
- ・ 小学校での学習内容や系統性についての正しい理解
- ・ 小学校における指導方法の工夫を参考にした授業づくり
- ・ 小中教員でお互いの授業を見て話し合う機会

中高接続

- ・ 高校の学習内容について全体像の理解
- ・ 中学3年と高校入学年次の指導について中高教員での共有機会
- ・ 授業に関する中高連携の推進



ご清聴

ありがとうございました